

1 仙南が誇る多様な地域資源を活用した観光・交流の推進

▶ 広域観光・物産情報の発信強化

① SNSを活用した観光PRの強化



● Twitterキャンペーンの実施（6・10・2月予定）

- ・昨年度開設したTwitterの情報発信強化策として、仙南地域の特産品が抽選で当たるキャンペーンを新たに実施
→蔵王産仙台牛やそら豆、「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」詰め合わせ 等を想定

● Instagram開設（R4.4）

- ・Twitterの情報発信強化策に加え、情報発信のチャンネルを増やすことで、さらに幅広く仙南地域の魅力を多くの方に発信していくため、新たに公式Instagramを開設

② 「ひなの郷せんなん」

- ・管内のひな祭り情報を一体的にPRするポスター&チラシを作成し、スイーツや山形・福島のひな祭り情報も掲載し、広域周遊を促進



▶ 広域連携による仙南地域への誘客促進・食のブランド化

③ 仙南・置賜連携事業「白石城vs米沢城」（9～11月）

- ・山形県置賜地域，国道113号観光推進協議会等と連携したエンターテイメント型周遊ラリー企画を実施

④ 道の駅等と連携したマルシェ開催

- ・管内の道の駅等と連携したスイーツイベント開催（4月：道の駅かくた，5月：おもしろいし市場，11月：道の駅村田）
- ・【3県連携】隣接する福島・山形と連携した相互物販イベントの開催（R4.11：「道の駅ふくしま」でイベント予定）



⑤ 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業

- ・道の駅と連携したギフトセットの造成・販売，他事業との連携（抽選の景品等），SNSを活用した広報による知名度向上等

⑥ 「県南ご当地キャラクターを探せ！2022」（7～9月）

- ・ご当地キャラクターによる周遊型謎解きスタンプラリー

⑦ ウォーキングアプリ「aruku&（あるくと）」連携企画（9～11月）

- ・各市町のウォーキングコース設定による秋季の誘客促進



2 人口減少・少子化等地域対策強化事業 [R4～R6]

⑧ 仙南アドベンチャーツーリズム推進事業「子ども遊VIVA！みやぎZAO」

- ・地域の自然環境を活かしたアクティビティを整理・発掘し，プログラムを造成するとともに，子育て世代向けに発信する
 - ◆自然を体験できる遊び場に関するニーズ調査
 - ◆アクティビティーコンテンツを活かした親子向けイベントの開催
 - ◆アドベンチャープログラムの造成
 - ◆情報発信ツールの作成とPR展開



令和4年度 観光振興に係る主要事業について

白石市民経済部商工観光課

○地域おこし協力隊活用事業

令和2年度から、観光による地域活性化を目的とし、2名の地域おこし協力隊を配置している。白石城内での甲冑試着体験の実施の、本市の特性を活かした観光資源を活用したイベントの企画・実施を行っている。

また、Facebook、Instagram、Twitter に地域おこし協力隊のアカウントを作成し、活動の紹介や白石市の情報発信を行っている。

着任した令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客入込数が減少し、思うように活動ができなかったが、メディアで取り上げられることも増え、徐々に活動が認知されるようになり、令和3年度は741名が甲冑試着体験を行った。

隊員の活躍によって、白石城をはじめ本市の魅力が広く国内外に知られるものとなり、ひいては本市とその周辺地域に賑わいを創出することを目的としている。

【事業概要】

・事業費 9,577,700円

・任用形式 委託型

※隊員の選抜から活動支援等を(株)VISIT東北に委託している。

・任用期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日

※任用期間は最長3年、令和4年度で3年目となる。

○国道113号(二市二町)観光推進協議会事業

平成8年、国道113号沿線の宮城県、山形県の二市二町の観光資源を共同でPRするため結成された協議会で、白石市から南陽市までの国道113号を愛称「みちのくおとぎ街道」とし、プロモーション活動を中心に、スタンプラリーなど両県をまたいだ周遊を促進する事業を実施している。

また、「みちのくおとぎ街道」は、日本風景街道(所管国土交通省)に登録されており、道をテーマに地域ならではの風景や自然、文化など地域資源を活かした地域づくりを目指し、運営に係るミーティングなどに参加、他の登録ルート団体と意見交換を行い、活動に活かしている。

【事業概要】

・事業費 1,758,000円 ※協議会令和4年度予算額

・事業主体 国道113号(二市二町)観光推進協議会(事務局：白石市)

・参加自治体 南陽市、高畠町、七ヶ宿町、白石市

・参加団体 各市町の観光協会、温泉組合など

・主な活動 スタンプラリー、広告掲載、インバウンドポータルサイトの運営、各市町で開催される物産展への出展、東北風景街道活動など

○観光需要回復のためのプロモーション事業

長引くコロナ禍において「マイクツーリズム」と呼ばれる近隣地域への旅行が注目されており、本市は、車で1時間程度の距離に県庁所在地が3市も立地している潜在性が高い商圏内にあることから、近隣市町並びに東北6県に向けて重点的にプロモーションを行い、マイクツーリズムを目的とする観光客の集客を図り、観光需要の本格的回復に結び付ける。

【事業概要】

- ・事業費 15,351,600円
- ・事業主体 一般社団法人 白石市観光協会
- ・実施期間 令和4年6月1日から令和5年3月31日
- ・事業内容
 - (1) 各種メディアを活用した観光プロモーション
 - (2) 誘客促進イベント実施
 - (3) ホームページを活用した観光情報発信
 - (4) 弥治郎こけしプロモーション

○市内宿泊事業者応援事業

自粛による旅行控えなどで宿泊客数の低迷が長期化、宿泊事業者だけでなく観光事業者や関係事業者も体力を消耗しており、地域経済全体が疲弊していることから、宿泊割引キャンペーンを実施することで観光需要を喚起し、間接的に事業者支援を行う。

【事業概要】

- ・事業費 13,195,000円
- ・事業主体 一般社団法人 白石市観光協会
- ・実施期間 令和4年11月1日から令和5年2月28日まで (予定)
- ・参加事業者 市内11施設 (予定)
- ・割引金額 1人1泊につき宿泊料金の1/2、上限5,000円
- ・割引対象者 東北6県在住者

令和4年度 角田市の主要施策について

1 各種まつりの開催

葉の花まつり	4月29日
宇宙っ子まつり	5月5日
梅まつり	6月11日・12日
ずんだまつり	10月2日
ねぎまつり	10月29日・30日
牟宇姫ひなまつり	令和5年2月から3月

2 グリーンツーリズムによる体験型観光の実施

6月	じゃがいも収穫体験 梅もぎとり収穫体験
7月	酪農場と枝豆収穫体験
8月	とうもろこし収穫体験
9月	梨もぎとり体験
10月	納豆工場見学と里芋収穫体験

3 サイクルツーリズム推進計画策定

令和3年度までの専門家や愛好者からのアドバイスをやサイクリングツアーの調査結果等に基づき、阿武隈急行サイクルトレインの活用など近隣自治体との連携を図りながら、市内に点在する観光地を結びつけるためのサイクルツーリズム推進計画を策定するもの。

- ・調査分析
- ・推奨ルート策定
- ・サイクルマップ作成



今が旬の青梅と、定番の梅干しの豪華共催

梅まつり

6月11±12日
9時開店～15時

梅干しを人気による、朝市会
梅干しのごちそう何で面白い！
お馴染みの道の駅かくだ番古の
キッズコーナー多数出展

- 高岡は道の駅朝市会から梅干しと名産品
- 道の駅かくだの梅干しは、梅干しを多く作る道の駅で
- 梅干しには、お馴染みのごちそうも出展
- 道の駅かくだの梅干しは、梅干しを多く作る道の駅で
- 道の駅かくだの梅干しは、梅干しを多く作る道の駅で

道の駅かくだ
〒981-1504 宮城県角田市角田1
TEL (022) 91-2850



未来にむかって山花044 宇宙っ子まつり

★期間★
5月5日(土) 9:00～12:00
5月6日(日) 13:00～15:00

★会場★
角田市の山花044 宇宙っ子まつり会場

★内容★
宇宙っ子まつり
宇宙っ子まつり
宇宙っ子まつり

★お楽しみ★
宇宙っ子まつり
宇宙っ子まつり
宇宙っ子まつり

★お楽しみ★
宇宙っ子まつり
宇宙っ子まつり
宇宙っ子まつり

令和4年度 蔵王町の主要施策について

○ 町内の多様な観光資源を活用した観光・交流の推進

▶ 蔵王町体験交流活動推進協議会の事業推進

① 体験希望先の拡大

●教育旅行セミナーへの参加

- ・（一社）東北観光推進機構主催の教育旅行セミナーに積極的に参加し、学校関係者と旅行会社にパンフレット、活動内容レジューメを用いてPRする。

②情報発信用プラットフォームの整備

- ・臨時交付金を活用し、町の公式ホームページ内に体験交流活動専用ページを作成することで、受入体制の周知を図るとともに、最新の情報を発信できるプラットフォームを作成する。



▶ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したアコター(ウィズ)コロナに向けた観光誘客事業

●秋季観光誘客広告宣伝の実施

- ・県内、隣接県の広域に向け「蔵王町」の認知拡大を狙いつつ、町内生産者の販路開拓と特産品の認知拡大を図ることで「蔵王町」への来訪促進と町内での消費増額に繋げるため、仙台駅で特産品フェアを開催する。

●Youtube広告動画配信事業の実施

- ・Youtubeのインストリーム広告で配信することで、地域とターゲットを絞り、時代のニーズにより合った効果的なPRを行う。

●遠刈田大橋松川ライトアップ事業の実施

- ・遠刈田大橋から眺望できる松川上流において、水面のライトアップを行うことで、観光業の新たな話題作りとして町内初のナイトコンテンツを造成する。
期間はファミリー層の集客が見込める夏季期間（夏休み）とする。

●ダイレクトメール発送事業

- ・クーポン付きのリニューアル版観光パンフレットを仙台市内の住宅地域（泉区・太白区）に配布することで、県内在住者の誘客を図る。また、町内全戸にも配布することで、最新の観光情報と事業者を町民に周知し、町内消費を促すとともに、クチコミによる観光情報周知へつなげる。

●観光誘客に係る情報発信事業

- ・マイクロツーリズム推進のため、秋季に県内在住者をターゲット層として下記4つの広告媒体にて情報を発信する。

- 1.仙台駅デジタルサイネージへの広告掲出
- 2.在仙4局へのテレビCM放映
- 3.ラジオスポットCM放送
- 4.新聞広告（河北、読売、朝日、毎日）への掲載

令和4年度 大河原町の主要施策について

1 「みやぎ蔵王」ならではの観光素材の魅力向上

▶ 観光客を引きつける“食”の広域展開

① 仙南地域ならではの食の名物づくり

● 食のブランド化事業

- ・ 町内飲食店の店主が講師となる食の講座「食の職人☆手ほどき講座」を開催予定



② 連携による地場産品の販売促進活動

● 仙南地域地場産業振興協議会事業（仙南2市7町）

- ・ 東京池袋のふるさとプラザでの仙南地域の物産展開催を予定



2 広域連携による多様で魅力ある周遊ルートの形成

▶ 仙南地域の観光ルートの形成

① テーマ性のある観光ルート形成

● みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議事業

- ・ 初級サイクリスト体験ライド
白石市・七ヶ宿町・川崎町・村田町コース
- ・ フォトコンテストの実施
- ・ デジタルスタンプラリー（蔵王三十六景との連携を模索）
- ・ SNS発信



【村田町の主要施策】

1、HP構築事業

観光に関するホームページのリニューアルを、令和3年2月に実施。村田町観光物産協会と連携し、ホームページを見れば村田の観光が一目で分かるよう整備を進めている。各観光施設や町内飲食店及び店舗の情報を充実させ、観光客への発信及び交流人口の増加を図る。将来的にはホームページ内にECサイトを作成し、新たな観光客の確保を目指す。



2、商店街賑わい創出事業

村田町商工会が主体で町内店舗を対象にスタンプラリーを実施。新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している中小規模の小売・サービス事業者等の売上回復を図る。参加者は、スタンプを3つ集めて応募し、当選した方には町内で使用できる商品券が贈呈される。



3、観光庁「看板商品創出事業」に係るコンテンツ造成について

観光庁が実施している「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」に応募申請をし、今年度認定をいただいた。東北唯一の総合モータースポーツ施設を有しているスポーツランドSUGOと協力し、蔵の町並みからスポーツランドSUGOを結ぶ村田町の一体的なPRを図る。コンテンツ造成に係るイベントも今後実施する予定。



令和4年度 柴田町の観光振興に係る主要施策について

1 周辺地域を巻き込んだ連携事業

●ガーデンツーリズム推進事業（みやぎ県南地域2市9町との連携事業）

みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結び付け、宮城県南エリアの認知度や交流人口及び関係人口の増加を図り、ガーデンツーリズムの促進と地域活性化を図ることを目的とした「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」。

令和4年度はホームページを開設し、これまで造成した周遊ルートや、官民が実施する様々な取り組みを発信し誘客促進を目指す。



●白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業（大河原町との連携事業）

・商品開発等事業

一目千本桜をイメージできるような土産物の開発や、12月に実施するイルミネーションに合わせ夜間景観形成事業を実施。

・白石川堤「一目千本桜」景観形成100周年事業

令和5年度に、白石川に桜が植樹されて100周年を迎えるにあたって、大河原町と連携し、令和4年度と5年度にキャンペーンを実施する。

令和4年度は100年を振り返る思い出フォトコンテストや公用車のラッピングを実施。



2 交流人口拡大事業

●一年を通した「花のまち柴田」の四季の花まつり

- ・しばた紫陽花まつり（6月中旬～7月中旬）
- ・しばた曼珠沙華まつり（9月中旬～10月上旬）
- ・みやぎ大菊花展柴田大会
- ・Shibata Fantasy Illumination（12月）
- ・しばたスプリングフラワーフェスティバル（3月中旬）



3 ウィズコロナにおける新しいマイクロツーリズム推進事業

●しばたオータムガーデンフェスタ（10月下旬）

令和2年度より開催している、感染対策を強化した新しい形のイベント。今年度で第3回目を迎える。



